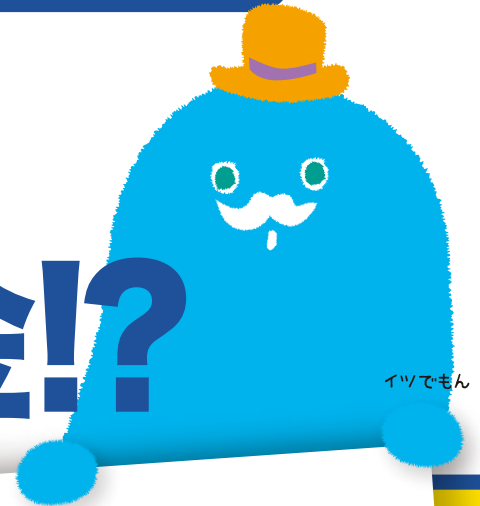
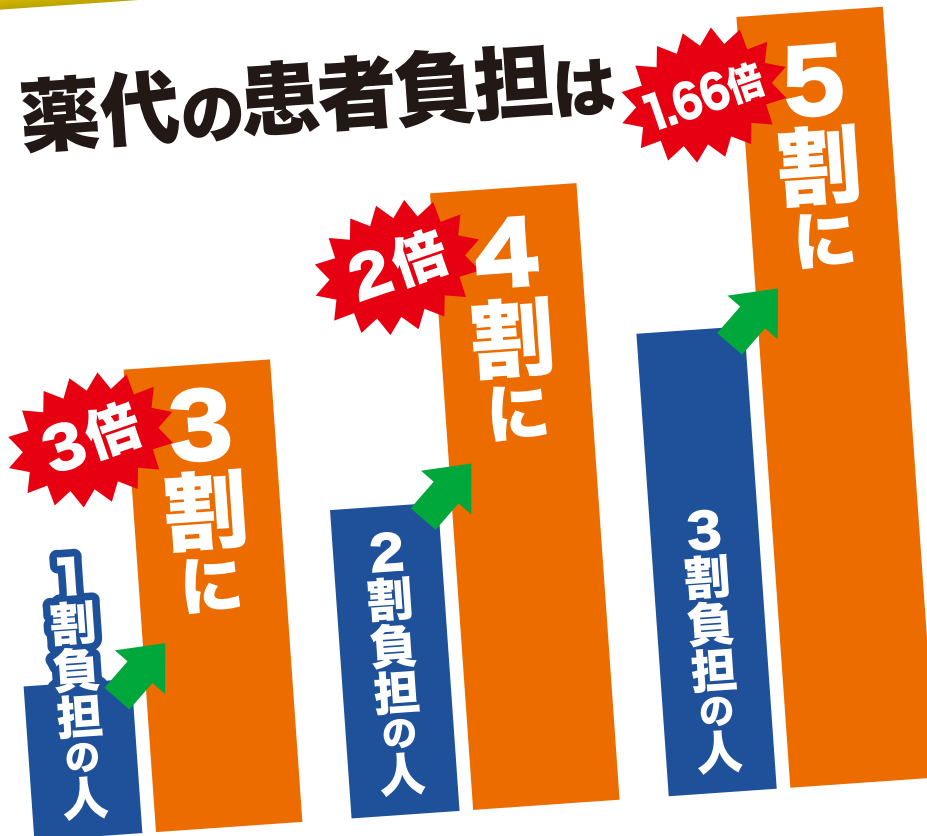


保険料も窓口負担(1~3割)も払っているのに

いつもの薬に +25%の追加料金!?



薬代の患者負担は



※実質的な負担割合

一方で

医療費の削減額は
約900億円で、
一人当たりに
換算すると月63円の
「軽減」にすぎない。



約1100品目が負担増の対象に

消炎鎮痛(痛み止め)

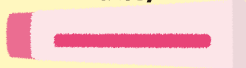
・ロキソニン



抗アレルギー薬

・アレグラ
・フェキソフェナジン

保湿剤

・ヒルドイド
ソフト軟膏/ローション

下剤(便秘)・制酸薬

・マグミット



去痰薬(痰切り)

・カルボシステイン



ステロイド剤

・リンデロン-V軟膏



私たちの
よく使う薬の
負担を増やして
保険料軽減!?

その前に
やるべき
こと!

国の負担割合を増やす

大企業の内部留保を
働く人に還元し賃金UP大企業の利益に応分の
税負担